

第90回岡原地区敬老会



地区の敬老者を集めて記念撮影。笑顔いっぱいの敬老会でした

参加者に聴きました

おにつかみのる
鬼塚稔 公民館長



今後も指導をお願いします

文部科学大臣の言葉の通り「老人が命の根、若者が命の葉」。この地区を育ててきた高齢者の方々に今後も指導をお願いしたい。敬老会はみんなが盛り上げてくれて、成功に終わりました。今後もずっと続けていきたいです。

祝ってくれて最高

みんなが祝ってくれたから最高です。岡原は空気もよくて、人情があるいいところ。人は減っているけど、残る若い人たちが、元気に地区を盛り上げていってほしいです。敬老会がずっと続くことを願っています。

いたたに
板谷レイ子 さん



おかはらのぶお
岡原信男 さん



敬老会は地区の誇り

食糧難であった戦中・戦後など、どんなに苦しい時代でも1度も途切れることなく続いてきた岡原地区敬老会。今年で90回の節目の年を迎えることができました。岡原地区民として誇りに感じています。



大正時代から続く地域の誇り

第90回岡原地区敬老会

大正12年に始まった岡原地区敬老会。敬老の日が制定される以前から行われている伝統行事です。今年も地区の高齢者63人が参加。地区を上げて参加者の健康長寿を祝いました。

4月28日、岡原地区営農研修館で第90回岡原地区敬老会が開かれました。「敬老の日」もなかった戦前から続く地区の伝統行事。敬老会の経緯を知る岡原信男さんによると、岡原地区では、古くは青年団を中心に相撲大会が開かれ賑わっていました。ところが、大正12年の関東大震災のため相撲大会を自粛。そこで、地区を支えてきたお年寄りをいたわる敬老会に切り替えたそうです。それから90年。一度も途切れることなく続いてきました。

今年の岡原地区敬老会は、70歳以上の地区高齢者95人のうち63人が参加。地区を挙げて健康長寿を祝いました。

敬老者を代表して今別府厚さんは「記憶に残る敬老会になりました。今後も私たちがあたく見守ってください。」とお礼を述べました。

その後、参加者は、踊りなどの余興や食事、抽選会などを楽しみました。

